

2016年10月3日
環境社会配慮助言委員会委員長 村山 武彦
担当ワーキンググループ主査 谷本 寿男

ナイジェリア国ラゴス都市鉄道整備事業
(協力準備調査((有償))
スコーピング案に対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2016年9月23日(金)14:04～16:34
- ・場所：JICA本部(1階111会議室)
- ・ワーキンググループ委員：清水谷委員、谷本委員、森委員、石田委員(石田委員はメール審議にて参加)
- ・議題：ナイジェリア国ラゴス都市鉄道整備事業準備調査に係るスコーピング案についての助言案作成
- ・配付資料：ナイジェリア国ラゴス都市鉄道整備事業準備調査に係るスコーピング案事前配布資料
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第74回委員会)

- ・日時：2016年10月3日(月)14:30～16:10
- ・場所：TKP 麹町駅前会議室(カンファレンスルーム8A)

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. 設定される料金体系のケースによっては、財務分析の結果が低い値(マイナスの FIRR) となることも想定される。そのような場合の緩和策(政府の補助など) を含めて、本事業の実施体制のみならず運営・維持管理体制案を DFR に記述すること。
2. 本事業の需要(利用者) 予測については、公共交通や自家用車からの転換率といった今後の調査結果に基づき、より具体的に DFR に記述すること。

代替案の検討

3. 代替案比較のための重みづけ・格付け・スコア方法において選ばれた検討項目の根拠を DFR に記述すること。

環境配慮

4. 騒音・振動に関して、特に学校、教会、病院などへの本事業による影響を予測の上、必要に応じて緩和策を検討し、その結果を DFR に記述すること。
5. 本事業のための発電施設の環境社会影響、特に騒音・振動を評価し、その結果を DFR に記述すること。
6. 計画路線沿いで伐採予定の街路樹の種類・本数など、今後の事前調査結果に基づき、代償植林実施の必要性に係わる提言を DFR に記述すること。

以上